

## 新技術・新製品特集号の発刊にあたって

技術開発本部

副本部長 村 上 晃 一

私が昔からずっと不思議だったことに、鳥はなぜ空を飛べるのだろうかということがあります。学問の世界でも諸説あるようですが、ここでは少しそれを離れて空想してみたいと思います。小学生のころに私が考えたのは、きっと遠い遠い昔の鳥の祖先は空を飛びたいなあ、とずっと思っていたのだらうということです。そう思っているうちに羽が生えてきて、チャレンジ精神旺盛なものがいろいろ試しているうちにあっ、飛べた!となったのではないかと、実は今でも、そう思っています。鳥の祖先は青い大きな空を見上げて、あそこはどうなっているのか、何があるのか、行ってみたい、と考えていたに違いないと思うのです。飛ぼうとも思わなかったものが偶然飛べるようになるというのはどうしても納得がいきません。創意工夫を重ねてより早くより遠くより正確に飛べるようになるのに、意志の力が働かないはずがない、と思うのです。彼らがそう決心したから、空を飛べるようになったと思うのです。むろん遠い遠い昔の鳥の祖先に我々の考えるような意志があったのかどうかは知る由もありませんが、人間である私たちには、明確な意思の力と新しいものを生み出す力の間に強い強い関係があることを知っています。



新技術、新製品も同じだらうと思います。漫然と何かをやっていたとしても、いつか誰かが何かができることがあるかもしれないけれども、そこに強烈な人間の意志の力が働かなければ、とてもお客さまが手に取ってくださるようなものにならないでしょう。まして現代社会において、限られた時間のなかで、もしかしたら永遠にできないかもしれない偶然を待つ余裕を我々は持ち合わせていません。

知識と経験の積み重ねによって、私たちは何をどうすればもっとうまくいくかを学び、実践することができます。しかし、新しいことをなすにはもう一声、意志の力が必要です。お客さまが私たちの新しい何かを手にしたとき、これが欲しかったとってくださるようなキラキラした結晶は、やはり意志の力が感じられるものでなければならぬと思っています。最近よく目にするイノベーションという言葉のなかにも私は人間の持つ意志の力を強く感じます。きっと鳥の祖先は自分自身をイノベーションして空を飛んだのでしょう。

今回ご紹介する IHI の製品も論文も、それにかかわってきた人たちの強烈な意志を感じさせるものばかりです。この技報を手にしてくださった読者の皆さまに、私たちの意志が伝わりますことを願ってやみません。